

## 2025 年度

## 授業概要

科目名	聴覚障害学Ⅰ			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
聴覚機能として聴覚のもつ意味や働きを理解し、そこから聴覚の発達の概要や「聞こえる世界と聞こえにくい世界」とは何かを理解する							
〔授業全体の内容の概要〕							
聴覚機能、聴覚障害者等の基本的な知識や聴覚障害のリハビリテーション・ハビリエーションを理解する。また、聴覚障害の歴史的背景について理解する。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
聴覚障害とは何かを理解し聴覚障害の特徴、典型的な難聴・ろうについての考え方を理解したうえでリハビリテーションの現状と課題を理解できる。							
回数	講義内容						
1	聴覚障害とは何か聴覚のもつ意味を理解する						
2	聞こえとことばの関係を理解する						
3	聴覚の発達について理解する						
4	難聴の発症率と分類について理解する						
5	聞こえる世界と聞こえにくい世界について理解する						
6	聴覚障害とライフステージについて理解できる						
7	聴覚障害のリハビリテーションの歴史と現状を理解する						
8	聴覚障害のリハビリテーションの現状と課題を理解する						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版				医学書院			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。							